

建畠哲

Tatehata Akira

(詩人、多摩美術大学学長)



現代美術の隆盛にみる 先端の奥にある本質

2016 年末特集

年末恒例の「回顧'16と展望'17」を企画した。
建畠哲氏に現代美術の今と美術館の役割を、笠井誠一氏に
現代作家の立ち位置とその可能性について語って頂いた。

回顧'16と 展望'17

Review 2016 and Preview 2017



(洋画家、立軌会同人)

笠井誠一

Kasai Seiichi

現代作家は何処に立つ 一時代の要請と可能性

その他

美術評論家、美術館関係者、美術家、美術商36名に美術界、美術市場の活性化のための思いを寄稿、インタビュー、アンケートによりご回答頂きました。

美術品の「夢」 — 信念を持った長期戦略を

中村 純 東京美術商協同組合理事長、東京美術倶楽部取締役副社長
東美特別展実行委員会、中村好古堂代表取締役

インタ
ビュー

真の新進作家支援を 求めて改革を継続

五十嵐 卓 損保ジャパン日本興亜美術館学芸課長

特別
寄稿

年末回顧特集

「新美術新聞」の詳細情報はコチラ▶ 美術年鑑社HP <http://art-annual.jp>

500
円

旬刊 / 毎月1日・11日・21日発行